

方針と重点	市の基本施策	学校の教育目標	資質・能力を育てたい	基本施策との関わり	本年度新たな学校の重点	具体的な実践内容または観点 (手立てとしてどうか、または達成度はどうか)	評価 A S D	分析と改善点
方針・重点 ・持続可能な社会の創り手（高山の未来を担う人材）の育成 ・郷土教育・キャリア教育・ICT教育・プレゼン教育	⑤安全・安心で快適な学校環境の整備 ④DXをとり入れた教育の推進 ③学校、地域、関係団体等との協働による郷土教育の推進 ②子どもの自己実現を支える教育の推進 ①豊かな心、健やかな体、確かな学力を育み、生きて働く力を身に付ける教育の推進	自律・協創・共生	(3)自分や他人を思いやり、相手や地域・社会のために行動する力 (2)人と関わり、価値あるものを一緒に生み出す力 (1)自分で判断し、自己管理や自己調整しながら目標に向けて取り組む力	①④ 荘川から世界へ	①④ 世界とつながる外国語能力の育成	・一貫した英語カリキュラムの実施と改善 ・9年生時に英語検定3級以上程度の能力育成 ・友好都市等との交流		
				①	生きて働く確かな学力の育成	・主体的に学びに向かう動機付けの工夫 ・自己調整しながら自律的に学びを進める学習方略の工夫 ・学びの有用性を実感できる振り返りの工夫		
				①④	起業できるプレゼン能力・ICT能力	・ドローンによる映像取得技術の学習 ・大学連携によるプレゼン制作学習		
				①③④	荘タイム（探究的な学習）	・保育園から9年生まで12年間のカリキュラムの実施と改善 ・3テーマ（郷土芸能・自然環境・生活文化）を横断的に学習		
				③	地域と学校との連携・協働	・地域の方（ふるさとドリーマー）による学習 ・地域行事での子ども・学校・地域による意見交換 ・地域貢献活動の実施		
				③④	情報発信・表現力育成	・ICT機器活用による地域の魅力発信 ・白山ユネスコエコパーク内の学校交流		
				②	育Me科の時間（社会的情動スキルの育成）	・SELによる社会情動的スキルの育成を目指した育Me科カリキュラムの実施と改善		
				①②	対人関係能力の実践	・日常生活における振り返り ・他中学校との交流 ・地域、海外との交流		

学校運営協議会における主な評価内容